終わらない原発事故

2026. 3.1

武藤　類子

給水車に並ぶ人たち　郡山市2011年3月12日　時事通信

スクリーニングの様子　郡山市　2011年3月13日
時事通信

山下俊一氏　二本松市2011年5月3日
OurPlanet-TVより

文科省前　2011年5月23日　IWJより

←除染土仮置き場　福島市2015年2月9日

号外　福島民友　2019年（令和元年）6月1日（土曜日）

聖火リレー25市町村

県内の聖火リレールート

県内聖火ルートの特徴

1日目ゴール　雲雀ケ原祭場地

2日目ゴール　鶴ケ城

3日目ゴール　開成山公園

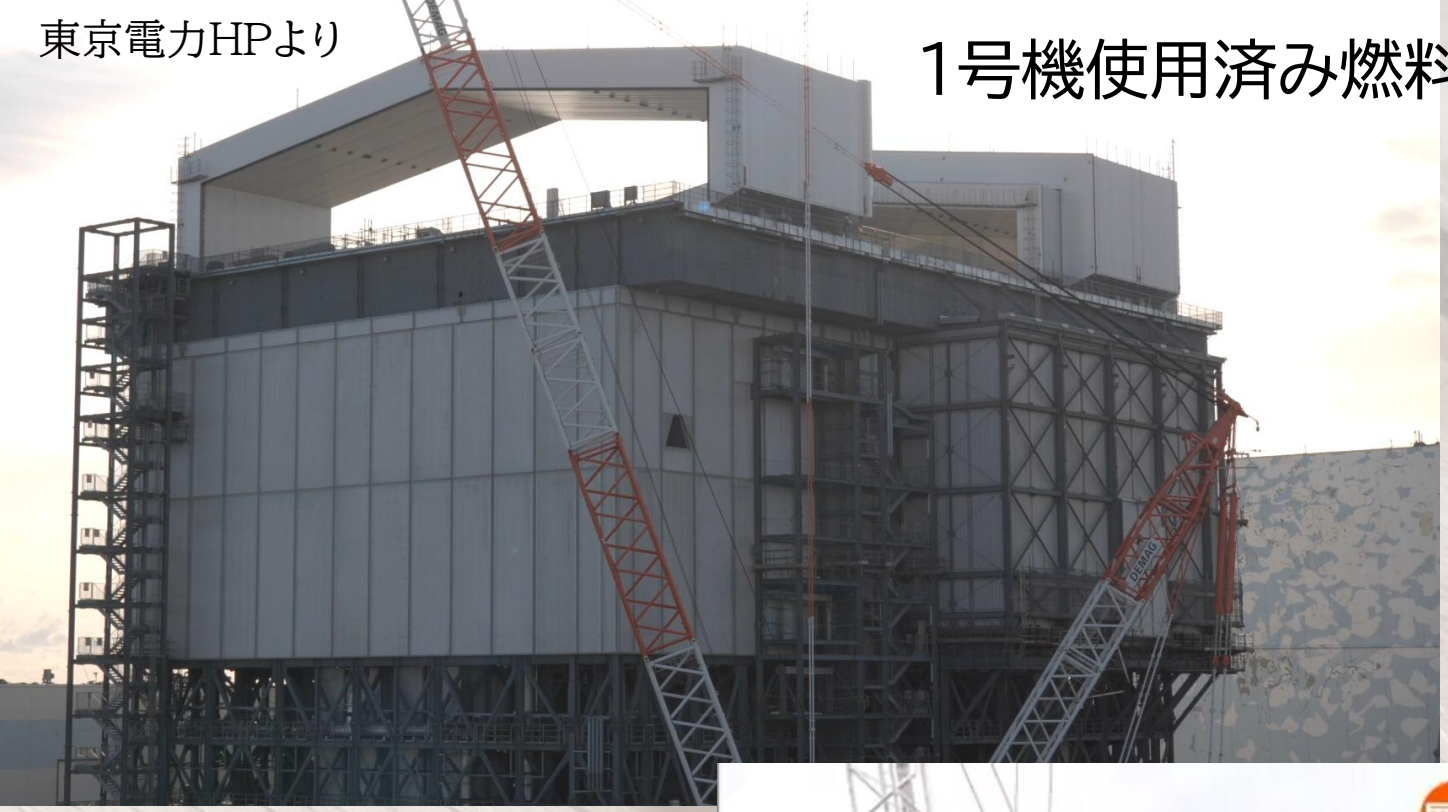
Jヴィレッジ　スタート

↑2019年6月1日　福島民友

←ボランティアによる小学校のプールの除染
伊達市2013年6月5日　朝日新聞

東京電力HPより

1号機使用済み燃料取り出しカバー
（2026.1.15）

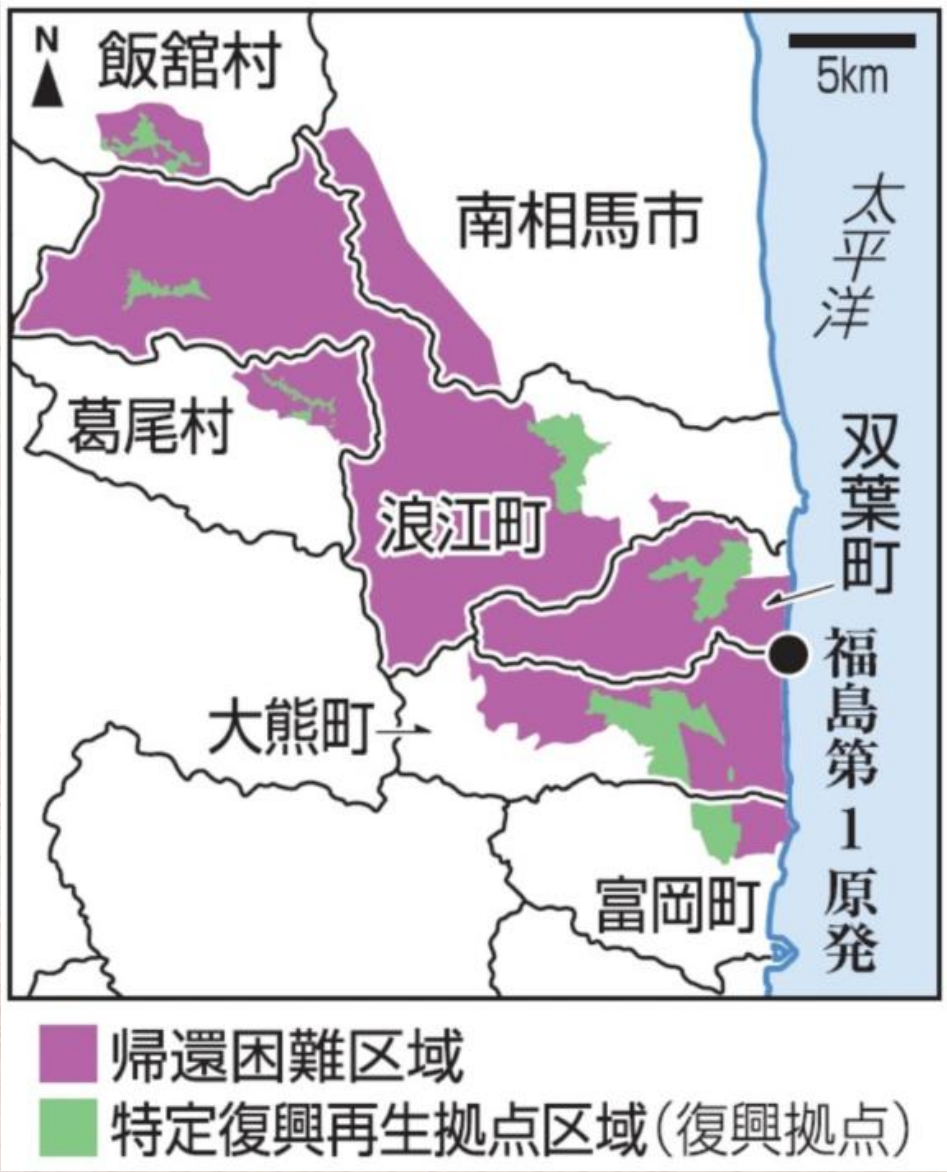


福島中央テレビ　2023年6月16日放送

←テレビユー福島（TBS系）
2026.1.9　より

最高裁小法廷→
最高裁HPより

今も残る帰還困難区域



福島民報より

福島県双葉町

2023.8.24にALPS処理汚染水海洋投棄が開始

←
福島第一原発に最も近づく
国道6号の交差点
（福島第一原発から2Km）
約2.4μSv/h

除染で集められた土は、法律により2045年までに全て福島県から撤去するという。「汚染土」から「除去土壌」、「再生資材」、そして「復興再生土」と呼び名を変える。

浅尾・元環境大臣　2025.9.26

首相官邸や中央省庁の庭や花壇に中間貯蔵施設の除染土（復興再生土）を埋め込んでいる。2026年秋までには東京都以外の政府出先機関でも使用する。

外務省の敷地内

環境省が、福島の復興や環境をテーマに、生徒・学生を対象にした作文やポスター、プレゼンテーションのコンペを行う「チャレンジ・アワード」

「チャレンジアワード2024」
大学生の部入賞
関西大学　山本高史ゼミの学生
「福土」
山本高史教授は元電通社員

FUKUSHIMA

除去土壌を全国に
受け入れてもらうための施策

福土

02 除去土壌に対する私達の考え

一度は放射線で汚れて全く使い物にならなくなった土が、除染により再び使える「健康な土」になった
=生命力、復活力の強い土である
除染されているため高品質で、使い道は多種多様な土
受け手の東日本大震災に関する記憶の風化防止や災害意識の向上を促す力がある土
貴重な資源土として国内で広く活用されることを通じて
福島自体の認知度とイメージアップを図ることが出来る
大量の土を再利用することで日本の発展に環境に配慮しながら貢献できる
⇩
このように多くの付加価値をもつ土を少しでも多くの人にとって良いものであると認識してほしいという想いから除去土壌を「福土」とネーミングして認知を広めたいと考えました

「土のバイキング」→
福島県飯舘村の会社が企画。
東京都亀戸のイベントで出典。
農学部やデザイン学部の学生とともに、飯舘村の土壌や農業の環境ブランド化を図る企画の一環。
経産省や博報堂も協力している。

プロジェクト概要

原子力発電所事故によって放出された放射性物質で汚染された土壌から農業を復興させるために、これまで福島県飯舘村で進められてきた土壌改良の研究を活用した環境循環型グリーンテックブランドを都心部、さらに世界へ一緒に展開していきましょう！

東電刑事裁判
2015.3.5　最高裁上告棄却決定

6・17最高裁共同行動

最高裁を1000人が取り囲むヒューマンチェーン

福島県民健康調査　甲状腺検査

	受診者数	がん確定	がんの疑い	がん・疑い合計
1巡目 2011～2013年度	300,472 （対象者367,637）	101	15 （良性1名含む）	116 （良性1名含む）
2巡目 2014～2015年度	270,552 （対象者381,237）	56	15	71
3巡目 2016～2017年度	217,922 （対象者336,667）	29	2	31
4巡目 2018～2019年度	183,410 （対象者294,228）	34	5	39
5巡目 2020～2022年度	113,959 （対象者252,936）	46	4	50
6巡目 2023～2024年度	68,921 （対象者211,929）	13	6	19
7巡目(途中) 2025～2026年度	1,844 （対象者171,949）	0	0	0
25歳時検査 （途中）	13,840 （対象者169,956）	19	7	26
30歳時検査 （途中）	4,193 （対象者66,542）	4	5	9
合計		302	59 （良性1名含む）	361 （良性1名含む）

2025年
6月30日現在
（2025年
11月20日発表）

国の「がん登録」制度によって新たに47人が判明。
さらに民間の調査で9人が判明。
少なくとも417人の患者がいる。

再生加速化交付金によりどんどん増える「福島イノベーション・コースト構想」関連施設

福島イノベーション・コースト構想推進機構
『福島イノベーション・コースト構想　地域企業参画事例ガイド2025年度版』より

福島ロボットテストフィールド

東日本大震災・原子力災害伝承館

福島水素エネルギー研究フィールド

完全閉鎖型植物工場

研究開発型コンクリート生産拠点

- 遠隔技術開発センター
- エンジンドローン基地
- 陸上エビ養殖施設
- 陸上サバ養殖施設
- 溶液栽培いちご工場
- ワイナリー
- 移住支援センター

など

福島イノベーション・コースト構想の司令塔

「福島国際研究教育機構」（F－REI エフレイ）

ドローン、過酷環境ロボット、スマート農業、バイオマス、水素エネルギー、放射線医療、創薬、放射線産業利用、航空宇宙開発、原子力災害に関するデータの収集などを目的に掲げる。
2023年からの7年間だけで1000億円の事業規模。
軍事技術の研究に関わるのではという懸念もある。

（パンフレットから作成）

F-REIとPNNL（米国パシフィックノースウエスト国立研究所）が連携・協力の覚書締結。

創業・起業 inふくしま１２市町村

（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）

最大2,250万円の補助

福島県創業促進・企業誘致に向けた
設備投資等支援補助金の案内

移住

福島県12市町村移住支援金

子育て世帯加算あり

単身 **120万円**　世帯 **200万円**

県外から福島12市町村への移住者の方が受けられる支援金です。条件不利地域を除く東京圏から18歳未満の世帯員と一緒に移住する場合、一人当たり100万円が加算されます。

福島県
12市町村
起業支援金
（令和6年度）

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

ふくしま12市町村は、あなたのチャレンジを応援します!

補助率等	補助対象経費の **3/4以内、最大400万円**

復興と言われてしまえば本当の心を言葉にできない空気

三原由起子『土地に呼ばれる』

金を撒く移住政策悲しくて

どこがロックだ　何がロックだ

「夢」「未来」「再生利用」「寄り添って」

どの言葉にも真実はなし

武藤類子